



東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告⑤ 『きょういく東村山』より

子どもたちに読み聞かせを！



お母さんたちの読み聞かせ

小学校の教室で、朝の時間などに絵本の読み聞かせをする保護者の方が増えています。PTA活動としてクラスの保護者有志が順番に行う場合が多いようです。大勢の子どもたちの前で読み聞かせをする時は、家庭で読むのとは違い、次のような工夫が必要です。

こんな工夫を

絵本は後ろの子どもにも見えるように、遠目の効くものを選びます。本をしっかり持ち、声をはっきり届けさせます。登場人物になりきって演じる必要はありませんが、読み手が生き生きと読むと、子どもたちにその楽しさが自然に伝わるものです。初心者であれば、長く読み継がれた、筋立てがきちんとした絵本から始めるとよいでしょう。

お手伝いします

市立図書館では、「子どもと本をつなぐ人への支援」の一つとして「読み聞かせ入門講座」を学校に向いて実施しています。読み聞かせのポイントを説明し、本の紹介をした後に、実際に受講者一人一人に絵本を読んでもらいます。読み手にとっては予行演習になり、聞き手にとっては様々なタイプの本を知る機会になります。最寄りの図書館でお受けしますので、お気軽にご相談ください。

また、各図書館には、読み聞かせに向く本のコーナーがあります。「5分で読み終わる本がほしい」等のご要望に応じて、本に所要時間を記してあります。おすすめ本や大型絵本のリストも発行していますので、参考にしてください。

子どもたちはクラスの友だちと一緒に読んでもらうのが大好きです。市立図書館が本選びのお手伝いをしますので、ぜひ学校での読み聞かせに挑戦してみてください。

『きょういく東村山』第66号より

平成24年6月15日号

編集・発行 東村山市教育委員会